

事務事業名	ぶどうウイルスフリー苗供給対策協議会参画事業		所属部局	農林商工部		単位番号	6084									
			所属課室	農林振興課		課長名	野田栄志									
	☐ 実施計画事業		所属担当	農業振興担当		担当者名	竹野浩一									
基本政策	基本計画	Ⅱ にぎわいと活力あふれる都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目						
政策	計画	07 農林水産業の振興	事業区分	01	一般	0	6	0	1	0	3	0	2	0	4	8
施策	体系	12 生産を支える基盤の整備充実		☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業												
				☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業												
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 S57 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)		法令根拠	山梨県ぶどうウイルスフリー苗供給対策協議会規約												
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (22年度)												
	ぶどう茎頂培養苗による改植を計画的かつ円滑に行い高品質ぶどうの生産、及び栽培農家の経営安定を図るため、山梨県、市町村、JA、などの関係機関が協力して、果樹試験場において原母樹の隔離保存及び管理並びにウイルス検定を実施する			項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)												
	○全農山梨が協議会の事務局で法令外負担金として支出している															
	○平成22年度より協議会のあり方を検討していくこととなったため。負担金の支出はなし。															
				計 0												

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	
22年度活動実績	負担金の交付事務
23年度活動予定	負担金の交付事務
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
原母樹から育成される苗木	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
病気に強い優良な品種を栽培農家に供給し産地間競争に打勝つ	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
優良品種を拡大し農家の経営安定を進め農業の振興を図る	

⇒ ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 協議会構成団体数	団体
イ	
ウ	
⇒ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 管理している原母樹の本数	本
イ 台木の数	本
ウ	
⇒ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 苗木採算出荷数	本
イ	
ウ	
⇒ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 果樹の産出額	億円
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	19						
	事業費計 (A)			千円	19	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数		人	1						
		延べ業務時間		時間	1						
		人件費計 (B)		千円	4	0	0	0	0	0	0
		(A)+(B)		千円	23	0	0	0	0	0	0
活動指標		アイ	団体	7.0	7.0						
		ウ									
対象指標		アイ	本	25.0	25.0						
		ウ	本	28.0	28.0						
成果指標		アイ	本	1,699.0	2,500.0						
		ウ									
上位成果指標		アイ	億円	73.0	73.0						

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	全国で始めて昭和57年にぶどうの産地間競争に対応するため病害虫に強い苗を供給する仕組みを作った
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	当時はウイルスフリー苗の供給は業者では難しかったが、現在では可能になっている。今後もこの傾向は高まる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	この事業を廃止すれば、苗木の販売額が高騰し、ぶどう栽培農家に影響が出る(事務局談) 市民やJAこま野からは要望はない

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	法令外負担金の支給業務だけであり改善は行っていない
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	なし

事務事業名	ぶどうウィルスフリー苗供給対策協議会参画事業	所属部	農林商工部	所属課	農林振興課
-------	------------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 病気に強い優良な品種を拡大し経営の安定に資することは政策体系と整合している
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 原母樹の保存を公共で行うことで管理が継続していく
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 山梨のブランドであるぶどうのウィルスフリー苗に限定した事業であり妥当であるが、こま野農協並びに生産農家から用場王はない
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 最も有名な山梨県ブランドのぶどうの優良品種を拡大させるには各関係機関の協力により行っていくことが効果的である
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 山梨県内で毎年2500本程度のぶどうの改植が行われるが、ウィルス検定などや出所がはっきりしないと安心して栽培できない ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 苗の価格の高騰が想定され、必要な農家に影響が出る
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 決算状況から見てウィルスフリー苗の保存管理の負担金としてはこの程度の支援は必要であるが、この協議会で事業を進めていく必要があるのかどうか検討する必要がある。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 本事業は法令外負担金(会員)の支給事務であり、協議会への出席要求もなく経費はほとんど掛かっていない
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 協議会の規約で定められており、公平である

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	本市への苗の供給はここ数年行われていない。また、フリー苗もこの協議会で確保していなくても民間事業者でも購入は可能となってきた。このため、協議会への負担金は不要である。今後は協議会のあり方も含め会員が協議する必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table>				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		※ 廃止・休止の場合は記入不要																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果	終了事業																					
		コスト削減優先度評価結果	終了事業																					